

臼田地区小学校建設候補地の課題等（案）

候補地	安全性	環境	まちづくり・地域づくり	通学	経済性・工事の円滑性	法令
あいとびあ臼田の東側	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップで全体が洪水災害区域（0.5m未満）に指定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 校地が高くなるため、周辺環境に配慮した施設配置が必要 住宅等が近くにあるため、工事中、配慮が必要 		<ul style="list-style-type: none"> スクールバス利用児童予想数：24名 徒歩3km以上児童予想数：83名 	<ul style="list-style-type: none"> 地権者約12名程度の同意が必要 南北に約2mの高低差があり、それを解消するため、北側に約2mの擁壁ができる 盛土には、約24千m³の購入土が必要（切土の場合は水処理が必要） 工事用の進入路が1箇所しかない 用地交渉等が順調に進んで、しゅん工までに約7年かかる 小海線に隣接しており、建設工事中配慮を要する 	<ul style="list-style-type: none"> 農振農用地であるため農振除外を要する 北側が第1種低層住居専用地域であるため日影規制がかかる 開発行為の許可に最低限必要な進入路（6m）を確保するためには、あいとびあ臼田北側の水路のフタかけ又は南側に進入路を要する 開発行為の許可に必要な雨水排水処理施設の整備が必要 下水道整備には、公共下水道区域の拡大が必要
青沼小学校及び周辺		<ul style="list-style-type: none"> 東側に高圧線が通っており敷地の利用に制限がある 校地が高くなるため、周辺環境に配慮した施設配置が必要 現地改築のため児童の学校生活に影響がある 	<ul style="list-style-type: none"> 臼田地域全体から見ると、大きく南側に位置することになる 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス利用児童予想数：79名 徒歩3km以上児童予想数：144名 	<ul style="list-style-type: none"> 地権者約7名程度の同意が必要 南北に約5mの高低差があり、それを解消するため、北側に約5mの擁壁ができる 盛土には、約70千m³の購入土が必要 用地交渉等が順調に進んで、しゅん工までに約7年かかる 	<ul style="list-style-type: none"> 農振農用地であるため農振除外を要する 市道46-4号線（南側隣接道路）の延長約200mの間、1m程度の拡幅を要する 開発行為の許可に必要な雨水排水処理施設の整備が必要 下水道整備には、公共下水道区域の拡大が必要
コスモホールの西側		<ul style="list-style-type: none"> 校地が高くなるため、周辺環境に配慮した施設配置が必要 		<ul style="list-style-type: none"> スクールバス利用児童予想数：22名 徒歩3km以上児童予想数：120名 国道141号線をわたる児童が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 地権者約13名程度の同意が必要 高低差を解消するため、東側及び北側に最大約4mの擁壁ができる 盛土には、約76千m³の購入土が必要（切土の場合は水処理が必要） 東西に約4m、南北に約4mの高低差があり、平面的な敷地利用に検討が必要 用地交渉等が順調に進んで、しゅん工までに約7年かかる 	<ul style="list-style-type: none"> 農振農用地であるため農振除外を要する 開発行為の許可に必要な雨水排水処理施設の整備が必要 下水道整備には、公共下水道区域の拡大が必要
臼田小学校		<ul style="list-style-type: none"> 隣接地が墓地及び住宅などであり、用地の拡張に制限がある 現校庭に校舎を建設する場合、グラウンドが不整形になる 現地改築のため児童の学校生活に影響がある 住宅等が近くにあるため、工事中、配慮が必要 		<ul style="list-style-type: none"> スクールバス利用児童予想数：32名 徒歩3km以上児童予想数：68名 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの転回等のために、北側の農地の取得も検討する必要もある 工事用、また開校後のスムーズな交通確保のために道路整備を要する 用地交渉等が順調に進んで、しゅん工までに約7年かかる（現在の建物側に建てる場合は、約9年かかる） 	<ul style="list-style-type: none"> 北側が第1種住居専用地域であるため日影規制がかかる

※予想数は平成26年5月現在の平成32年児童数の推計